第7回　水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会

　平成28年1月25日（月）に第7回「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」（座長：陣内秀信　法政大学デザイン工学部教授）を一般参加等約60名のもと開催しました。全国の市町村や地域住民によって、この2年間で35箇所にのぼる　「ミズベリング会議」が開催されたことを紹介し、その代表者４名から現在の活動も含め報告いただき、その後幅広い観点から水辺とまちのより良い関係づくりに関する意見交換をしました。
「国土交通省はミズベリングの第一のサポーターであり続ける」との当方の宣言を歓迎する声が会場より相次ぎました。

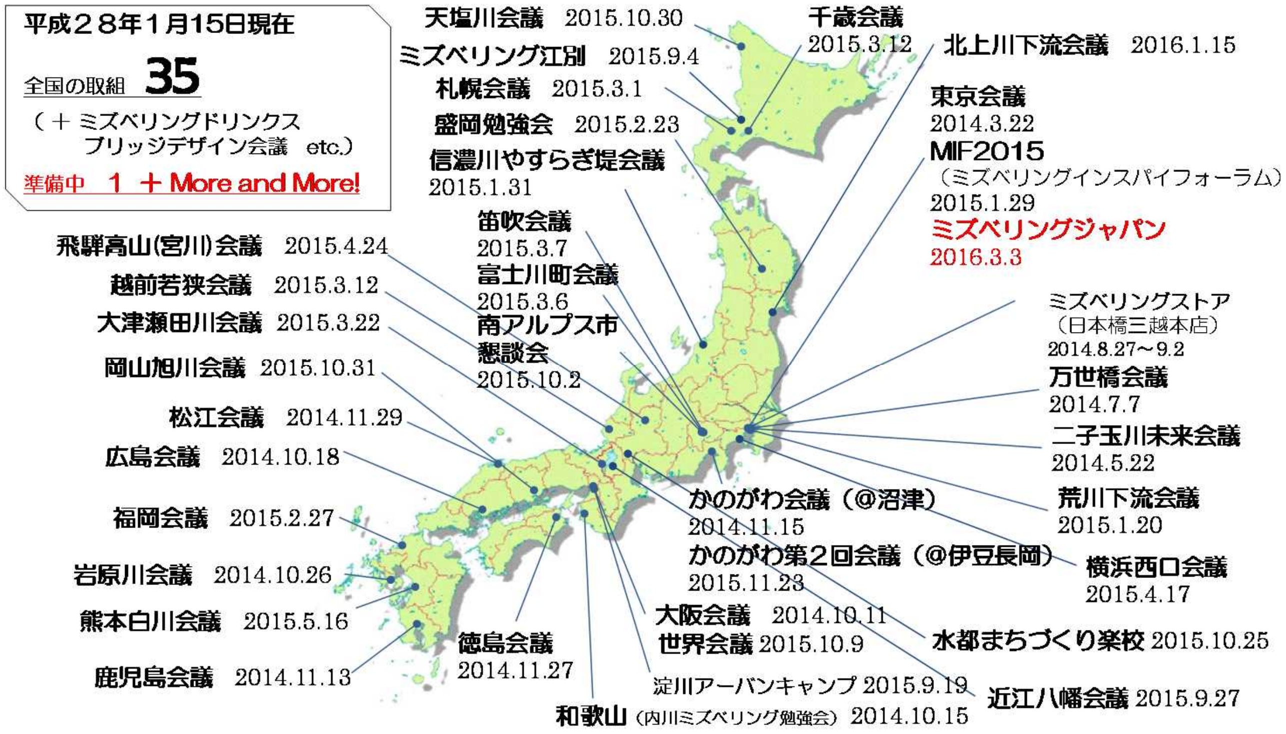
日時：平成28年1月25日（月）
　　　15:00～17:30
場所：MIRRORビル5 F Gocai
　（東京都台東区蔵前2-15-5）

ミズベリングは３つの意味を兼ねた造語
①水辺＋RING（輪）
②水辺＋ing（進行形）
③水辺＋Renovation（リノベーション）

会場にもこだわり、毎回水辺で開催
今回の会場から望んだ隅田川の風景

<ソーシャルデザイン懇談会コメンテーター>

氏名	所属
座長：陣内秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授
井出玄一	一般社団法人ボート・ピープル・アソシエイション代表理事
伊藤香織	東京理科大学理工学部建築学科教授
金井司	三井住友信託銀行株式会社経営企画部理事・CSR担当部長
岸井隆幸	日本大学理工学部土木工学科教授
忽那裕樹	株式会社E-DESIGN代表取締役
久米信行	久米繊維工業株式会社取締役会長
紫牟田伸子	紫牟田伸子事務所代表
吉村庄平	大阪府都市整備部長
辻田昌弘	東京大学公共政策大学院特任教授
三浦隆	東京都建設局河川部長



水辺とまちに関する最近の動向

・平成26年３月以降、全国で続々と開催されるミズベリング会議の状況を報告
・年度末までに国交省が展開する魅力的な水辺づくりを更に推進するための３段式ロケットの取組みを紹介
①1月25日(月)
水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会
②2月16日(火)
かわまちづくり全国会議
③3月3日(木)
ミズベリング・ジャパン

各地のミズベリングの取組紹介

福井県越前市
環境文化研究所
田中謙次氏

・田舎ならではの民間主導のリバービジネス
・洪水敷の利活用促進のためテントを設置しやすい施設に改変

滋賀県近江八幡市
（株）まっせ
田口真太郎氏

・文化的価値の高い水辺をどう生かすか議論中
・行政、大学、地元企業、住民まで巻き込んでの幅広い協力者

神奈川県横浜市
（株）相鉄アーバンクリエイツ
鳥畑智紀氏

・エリアマネジメントとして水辺を活かす
・行政が何を求めているのかを知って、逆にそれを差し出す対話法も必要

島根県雲南市
雲南市産業振興部
商工観光課
鈴木佑里子氏

・ただ地域を楽しんでいたらそこは水辺だった
・女性だけの集まりだからできる「ゆるい」活動に賛同する多くの参加者あり

意見交換

・日本の魅力的な水辺と、そこで展開する全国のミズベリング活動は世界に発信していける取組
・グレーゾーンに可能性が隠れている。そこに風穴をあけるコツは、個人や民間、行政間のホンネの対話
・一見無機質な土木構造物も、人がそこに集い風景の一部になることで全く違う印象に変わる。宝物は身近に
・収益の出るエリアを切り取らず、周辺も含めマネジメントするのがコツ